



ちいさいうち

バージニア・リー・バートン 文・絵

いしい ももこ やく

岩波書店 1965年 1680円

40ページ 24×25cm

頑丈に作られたちいさいおうち、長い間変わらない姿で、静かな田舎の丘の上に建っていました。ところが、遠くに町のあかりが見え出すと、自動車がやって来て、工事が始まり、急速に自然は失われていきました。大都会に取り残されたおうちは、田舎を恋しく思うのでした。

優しいタッチで綿密に描かれた絵に力があり、季節の変化、年月の経過が読み取れます。色彩豊かな自然の風景から、無機質な都会に変わっていく様子には胸が痛みます。ページの中央に描かれたおうちは人間の顔のように見え、穏やかな暮らしを取り戻した結末では喜んでいるようです。流れるように配置された文章で、自然と調和した暮らしへの賛歌を歌い上げています。



ちいさなうさこちゃん

うさこちゃんシリーズ

ディック・ブルーナ ぶん・え

いしい ももこ やく

福音館書店 1964年 630円

28ページ 17×17cm

うさぎのふわふわさんとふわおくさんの家の庭に天使が舞い降り、もうじき赤ちゃんが生まれることを予言します。赤ちゃんはうさこちゃんと名づけられ、動物たちが次々にお祝いにやってきました。世界40数カ国で翻訳・出版されているうさこちゃんシリーズの第1作目です。うさこちゃんはミッフィーとも呼ばれます。絵は、シンプルな線と青・緑・赤・黄のブルーナカラーで描かれ、登場人物の顔はみんな正面を向いているのが特徴です。17cm角で丈夫な装丁は、子どもが手に取って楽しむのに最適です。うさこちゃんの日常生活が優しい響きの文章でつづられ、読む人に幸せと安心感を与えます。